

中国地方の
みなさん

期待に応え本格始動

大平喜信 衆議院議員



衆議院議員面会所前で、国民要求実現の国会請願デモ参加者を激励する大平衆院議員ら

決意も新たに公約実現へ全力 委員会での初論戦の準備急ぐ

日本共産党が8議席から21議席に躍進した昨年末の総選挙から1カ月余りが過ぎ、1月26日には第189通常国会が開会。比例中国ブロックから11年ぶりに議席を奪還した大平喜信衆議院議員は、40人学級への後戻り中止や災害被害者支援の拡充などを政府へ申し入れて公約実現に全力をあげることも、安倍政権の暴走ストップへ国会論戦の準備をすすめています。

大平議員の所属委員会は、文部科学委員会、災害対策特別委員会、憲法審査会の3つで、新人議員で3つの委員会を担うのは大平議員だけです。

議席増にもなつて日本共産党の質問時間も大幅に増え、大平議

員も2月下旬には、委員会での初論戦にのぞむ予定で、公約の実現と選挙中からも含め寄せられた国民要求の実現へ、論戦準備を急いでいます。

大平議員の所属委員会 文部科学委員会、災害対策特別委員会、憲法審査会



▲鳥インフルエンザで現地調査 (山口県長門市)



▲災害被災者支援の充実を防災担当大臣に要請



▲中四国農政局長と懇談

▼ 院内集會に参加の大平議員



アツくやさしく

東 奔 西 走



▲仁比聡平参院議員と決意をあらたに初登院

通常国会が開会した1月26日、日本共産党は、総選挙での躍進で獲得した議案提案権を行使し「政党助成法廃止」法案を衆議院に提出しました。

大平議員も、志位和夫委員長をはじめ21人の衆議院議員団の一員として法案提出に参加。「総選挙での公約を法案提出という形にできたことで、党躍進を実感しています。法案提出は第一歩。政党助成金を廃止させるまで、国民運動と世論を大きくしていきたい」と語っていました。



法案を提出する大平議員 (2列目中央左) ら

躍進した日本共産党衆議院議員団 「政党助成法廃止」法案を提出